

町政覚え書き

第31回 地域ブランドを考える【第1回】
産業振興に必要な視点～長期的・広域的取り組み～

大河原町長 伊勢 敏

昨日閉会した議会定例会で議員9名が一般質問を行い、そのうち2名が産業振興をテーマにされた。6次産業化及び企業誘致にそれぞれの絞ってのご質問でした。
産業振興は今後の町勢発展及び地方創生の観点からも極めて重要な課題である。私は施政運営に当たり、福祉の充実や住みやすさなど安全・安心の側面及び産業の活性化など活力・勢力の側面、つまり、安全安心と活力の両立について常に念頭に置いてきた。
議会の論戦を通じて改めて、産業振興に関しては長期的かつ広域的な視点の必要性を強く感じた。この観点から、産業振興について考えてみる。
6次産業化とは、農林水産物（一次産品）を、加工（製造）二次産業から販売（流通）三次産業まで一貫して行い所得を増やす方策である。一次・二次・三次産業の数字を足して6となることから6次産業化なる用語が使用される。
成否の判断は販売額の増減でなされ、戦略戦術が欠かせない。多くの自治体はその戦略として掲げた「地域ブラン

ド」が参考になる。成功した地域ブランドを紹介しよう。
岐阜県「オリベブランド」の名称は信長、秀吉、家康に仕えた文人大名古田織部に由来。
繊維・アパレルの中小零細下請け企業の下請け脱却をめざし、品質・価値で勝負できる産業への転換を図るため、海外の有名デザイナーを招へいし企画力を向上、海外の有名美術館で展示会や商談会を行った結果、狙い通りに海外での評価が国内に反映。問屋を通さず全国31の量販店・百貨店で販路を確保している。
青森県「攻めの農林水産業」は、農林水産・文化観光・商工労働三部のブランド推進窓口を一本化し、全国に通じる県産品をめざし、首都圏の大手量販店でフェアを開催、消費者や流通業者の厳しい意見を生産者に繰り返しアドバイスを行った結果、量販店における定番商品を増やしてきた。
島根県「いい水が育てた幸」は、日本一の県産品の育成を掲げ、消費者ニーズに基づく品質改良、自然・歴史・文化を加味した物語による認知度向上を狙った。流通・ホテル・

広告代理店及び島根県人で構成するブランド選考委員会を設立。隠岐のイワガキなどを島根ブランドに設定、選考から外れた品目も百貨店の定番化への支援を行い、首都圏や海外で販売を伸ばしてきた。
3例の共通点は、生産者の意欲と特色ある長期的なブランド戦略の存在である。
また、戦略を描いたのは県であった。広域的な取り組みが地域ブランドに欠かせない。
本町がブランド戦略を構築する場合、町単独の戦略に加え仙南または県南程度の広域的な戦略は有効であろう。
本町が事務局となり、仙南の森林資源を原料に再生可能エネルギーを製造する企業の立地を促進するため、仙南の5つの森林組合などを構成員とする協議会が設立された。
いわば林業の6次産業化の広域的取り組みである。
地方創生は、人口の流出を阻止する地方拠点都市の創造に期待がかかる。人口流出を防ぐ6次産業化及び企業誘致は、長期的かつ広域的な取り組みのもと、今後ますます重要となる。【9月18日】

第2回は、12月号に掲載します

突っ込めば長生きの秘訣

各行政区で敬老会開催

毎年9月から10月にかけて、町内各行政区では地域ごとに様々な趣向を凝らした「敬老会」が開催されています。
錦町区（会場：桜フローラ）では、敬老者の皆さんを楽しませようと、白石陽光園の方たちによる小倉太鼓や、地区の小学4・5・6年生たちによる小学生ソーランなどが披露され、会場からは曲に合わせ掛け声を掛けたり、一緒に歌ったりと、たくさんのアトラクションがあり、出席された皆さんも楽しいひとときを過ごしたようです。



▲敬老者の皆さんのために一生懸命踊る小学生たちに、会場は和やかなムードとなりました。

地域の安心安全を守るために

大河原町消防団消防演習

消防団の皆さんが日頃の訓練の成果を発揮するとともに、地域防災に対する意識を高める「消防演習」が、9月13日総合体育館で行われました。
残念ながら、今回は9月10日から11日にかけての大雨の影響により、室内で規模を縮小しての開催となりましたが、大雨の際は、夜通し地域の見回りや冠水した箇所などの復旧作業に当たり、演習前日まで出動した団員もいました。演習は年に一度となっていますが、消防団は地域を守るため様々なところで活躍していただいています。
演習後半では、長年にわたり消防団を支えてきた団員やその家族への、表彰状や感謝状の伝達も行われました。



▲消防ポンプ自動車1台と各分団の21台の小型動力ポンプ付積載車が横一列に勢揃い。

記録的な大雨となりました

大雨特別警報発令!!

9月10日から11日にかけて、台風18号の影響により県内では、発達した積乱雲が次々に発生したため、非常に激しい雨となり、町内でも道路などの冠水や床上床下浸水などの被害を受けました。
9日午前3時45分に大雨（土砂災害）警報が発令され、11日午前1時頃には白石川の水位が氾濫注意水位を超えたため、特別警戒本部体制に切り替え、水位の監視に職員があたり常時水位を監視しておりました。また、午前3時20分には宮城県全域に大雨特別警報が発令されたため、午前3時52分に町よりエリアメールを発信しましたが、幸い白石川の水位は避難判断水位である17.10メートルまでは増水せず、その後雨も弱まり水位は減水し、皆さんへの避難指示には至りませんでした。
万一、避難等が必要な状況となった場合は、随時町からのエリアメールや広報車などでの何等かの周知を行います。自らも情報収集を行い、自らの身を守りましょう。



駅前図書館今月の新刊 「まちの本棚」

一般/■ナンコレ生物図鑑 佐々木洋/著 スタジオ大四畳半/絵
空飛ぶ金歯「ジンガサハムシ」、田んぼの歯ブラシ「ホウネンエビ」...。思わず「なんだこれ!?!」と叫んでしまう、奇妙すぎる身近な生き物たち「ナンコレ生物」61種類を、点描イラストとともに紹介します。
小説/■連鶴 梶 よう子/著 【祥伝社】
親藩・桑名藩士として身命を賭す兄と、商家の婿養子となった弟。幕末維新の激動は、二人に何を問い、いかなる明日を見せるのか? 鋭い女流作家が初めて幕末維新に挑んだ野心情。小説NONO連載に加筆・訂正し単行本化。
児童/■はじめての美術鑑賞
ローリー・ディキンス/文 宮坂 宏美/訳
レオナルド・ダ・ヴィンチ、歌川国芳(うたがわくによし)、ラファエロなど、古今東西の有名な絵がたくさん見どころや、画家の絵のかきかたも紹介(しようかい)します。「やってみよう」のコーナーを参考に、みんなも絵をかいてみてね。
児童/■アーチー・グリーンと魔法図書館の謎 D・Dエヴェレスト/著 こだまともこ/訳 石津昌嗣/画 【あすなろ書房】
12歳の誕生日、アーチーに届けられた謎の小包。それはイングランド最古の法律事務所に、400年前に預けられたものだった...。(暗黒の魔法が記された7冊の「恐怖の書」をめぐる謎解き冒険物語。
絵本/■ペンギンのパンゴー 市川 里美/作 【BL出版】
ぼくはぬいぐるみ、ペンギンのパンゴー。ぼくとダンニはだいのなかよし。ダンニがあかちゃんときから、いつもいっしょにいるんだ。あそぶのも、たべるのも、ねるのも、いつもいっしょ。だけど、たんじょうびに、あたらしくどうぶつづのぬいぐるみたちがやってきて、ダンニはぼくをわすれてしまったみたい...。